

4町合同で交通安全運動

秋の全国交通安全運動出発式

9月19日（金）御船町カルチャーセンターで、平成26年秋の全国交通安全運動御船警察署管内4町合同出発式が開催されました。

本運動は、地域住民の交通安全への意識を高め、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を身に付けるとともに、交通事故防止の徹底を図ること目的に、御船署管内の4町が合同で実施するもの。

本町では、9月25日（木）に熊本バス車庫前で交通安全街頭キャンペーンが行われ、通行する車の運転手に安全運転を促しました。



▲御船署管内の4町が合同で開催した出発式



▲コーチャロアツソくんと記念撮影する参加児童

ボールを蹴って楽しもう

ロアツソ熊本・子どもサッカー教室

9月13日（土）甲佐小学校グラウンドで、ロアツソ熊本による子どもサッカー教室が開催されました。

同教室は、ロアツソと県下市町村などが共同で県内地域の元気づくりのために取り組む「火の国もりあげタイ！」活動の一環として、同クラブ、熊本日日新聞が共催。

町内の小学生などを対象として教室は開催され、アカデミー・コーチャが指導。約50人が参加してパスやトラップなどの基本技術を練習した後、同クラブのマスケット「ロアツソくん」らも参加してのミニゲームも楽しみました。

環境を守って豊かな暮らし

「こうさ環境フェア2014」を開催



▲環境に関するブースが並ぶ出展コーナーでは、エコについてのクイズや浄化槽による水の浄化のしくみをパネルや模型などで紹介

9月20日（土）町生涯学習センターで、「こうさ環境フェア2014」が開催されました。

環境問題に関心を持つことで日常生活を見直し、環境保全の取り組みを実践するきっかけを作ることを目的に、町と町教育委員会が主催。環境に関する講演や展示、スタンプラリーなどが行われ約140人が参加しました。

講演会では、NPO法人くまもと温暖化対策センター顧問の宮原美智子さんが、「私たちのくらしや未来を考える～身近にできるエコ」と題して講演。今現在起きている環境問題について考え、日常生活の中で身近にできる環境保全から行動することの大切さを訴えました。

町内の各小学校は壁新聞などで、リサイクルや川の環境などの学習成果を発表。環境に関する活動や取り組みを紹介するブースが多数設けられました。

また、緑川への思いや願いを作品にすることで、環境を大切にすることを育てることを目的とした環境教育啓発作品の表彰や、グリーンカーテンコンテストの表彰なども行われました。